



Q131. 発達障がいの二次障がいってというのは？



A. 発達障がいに関連して起こる二次的な問題ですね。

先天的な脳機能障がいを原因とする障がいを総称して**発達障がい**と呼んでいます。明確な原因も解っていないし、根本的な治療法也没有せん。この、もともとある障がいを「一次障がい」と呼びます。

「一次障がい」である発達障がいが原因で、周囲からの理解を得られない環境の中で、繰り返し注意されたり、不安にさらされ続ける経験をしてしまいます。これらのことが原因となって自己肯定感の低下が始まり、うつ病や不安障害、引きこもりや暴言、自傷行為や他害行為などが発生することがあります。この状態を「二次障がい」または「二次的な問題」と呼んでいるの。

発達障がいの特性を持っている子どもは、小学校など集団の場でうまくコミュニケーションが取れなかったり、周りに合わせて気持ちや行動を切り替えられないことが多くあります。そのために叱られたり注意される、行動を制限されるなどが繰り返されてしまいますね。周囲の人に理解してもらえずに、変わってる、や、ヘンなことをする、と言われてしまうこともよくあります。

環境設定がしっかりとなされていないと、ストレスが多くなってしまい子どもにとって辛い経験のほうが多くなってしまふ。成功体験をうまく積み上げていくことができずに自信がなくなってしまうと自己肯定感が下がってしまつて「どうせ自分なんか」「やってもできないから」というネガティブな感情に気持ちが支配されてしまうのね。こうしたことがきっかけで起こってしまう情緒の不安定さや周囲との不適合が「二次障がい」の発症につながっていってしまいます。

おもな症状として内在化障害と外在化障害があります。人によってひとつの症状だけの場合もあるし、複数の症状が出てしまう場合もあるの。その人によって異なっている発達障がいの重さやストレス環境、周りの状況によって「二次障がい」の発症の仕方や症状もさまざまに変わってくるという特徴があるのね。

内在化障害は、自分に対する苛立った気持ちや精神的な葛藤が自分に向けて表現されてしまふ、自分自身に大きい影響を与えてしまう**精神疾患や症状**のことを言うのね。うつ病や抑うつ状態、適応障害、不安障害、強迫性障害、不登校や引きこもり、依存症、摂食障害、睡眠障害、対人恐怖症、頭痛や腹痛などがよく知られているところですね。

外在化障害は、他者に対して影響を与える行動をしてしまうことを言います。自分のことをわかってもらえない、努力しているのに怒られてしまうといった、自分が抱えている不安な気持ちや憤っている感情を自分以外に向けて行動で表現している状態を言います。反抗挑戦性障害や、行為障害、反社会的行動や触法行為などですね。こういった外在化障害は、内在化障害と一緒に起こってしまう可能性もあります。

発達障がいにおける二次障がいは、年代によって起こる症状が異なるといわれていて、大きく4つの年代に分けて考えられているの。児童発達支援の対象になる幼児期は、軽度な適応上の行動で問題が見られる傾向があり、かんしゃくを起こす、人を叩いてしまうといった行動に現れます。

[放課後等デイサービス](#)の対象となる学童期では適応行動での問題が主に見られるところね。学習面での問題や集団行動、友だちとの関係性の構築での問題が目立ってくるし、情緒面の不安定さも見られますね。特に学習面での不安やパニックが多く出てくる傾向があります。

青年期も放課後等デイサービスの守備範囲で、適応行動での問題も見られるのですが、より情緒面の不安定さや精神面、行動面での問題、心身症が中心となっていきます。成人期では、情緒面の不安定さもありますが、適応行動での問題や精神面、行動面の問題が中心になります。

学童期に、友だちとの関係性の構築など対人関係での問題が表面化したときに、適切なサポートを受けられていると、青年期、成人期での二次障がいを抑えることができるといわれているの。小学校のような早い段階で、環境の整備や特性に応じた配慮方法を周囲が把握しておくことが二次障がいの予防につながっていくようです。

人によって現れ方が異なる二次障がいは、それと気付けないことも多いものなの。だけど、二次障がいは周囲の関わり方によって予防できるものでもあります。二次障がいかと思った場合は、できるだけ早い時期に専門家のサポートを受けながら、周囲が環境を整備し、本人は対処の方法を習得していくことが二次障がいの重症化を防ぐことになっていきます。

[《MENU》](#)

[《チャイルド・ファーストの理念って？》](#)

[《発達障がいは治るものなの？》](#)

放課後等デイサービス支援事業
Support Project of
Day-service for After-school
At Kyoto

2023-05-08 掲載